



リリース 7.0.2

「真の発見の旅とは、新しい風景を探すことではなく、
新たな視点を持つことである。」
マルセル・プルースト

リリースノート

JMP, A Business Unit of SAS
SAS Campus Drive
Cary, NC 27513

JMP 7.0.2 リリースノート

Copyright © 2008, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA

All rights reserved. 米国にて制作。

この出版物の使用については、入手した時点で、ベンダーが規定した条件が適用されます。

米国政府の権利の制限：本ソフトウェアおよび関連マニュアルの米国政府による使用、複製、または開示は、SAS Institute との同意契約書、および FAR 52.227-19 商業コンピュータソフトウェアの制限付き権利の条項（1987年6月施行）に従うものとします。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

JMP[®]、SAS[®]、その他すべての SAS Institute Inc. 製品名およびサービス名は、米国およびその他の国における SAS Institute Inc. の登録商標または商標です。® は米国の登録商標を示します。他のブランド名および製品名は、所有各社の登録商標または商標です。

目次

テーブル	2	分析	4
計算式エディタ	2	一変量の分布	4
要約	2	モデルのあてはめ	4
連結	2	モデル化：時系列分析	4
データフィルタ	2	生存時間分析もしくは信頼性分析：	
読み込み／書き出し	2	生存時間／信頼性分析	4
SAS	2	グラフ	4
Excel	2	チャート	4
ODBC	2	重ね合わせプロット	4
ユーザインターフェイス	3	管理図	4
Windows のツリーリスト	3	変動性図 / ゲージチャート	5
プロジェクト	3	パレート図	5
ジャーナル	3	工程能力	5
セッション	3	プロファイル	5
ツールバー	3	等高線プロファイル	5
SAS インテグレーション	3	スクリプト	5
ディスプレイ	3	JSL 演算子の索引	5
実験計画	3	JSL 関数	5
カスタム計画	3	スクリプトエディタ	6
		オートメーション	6
		その他	6
		アクティベーション	6
		アップデートチェッカ	6
		サンプルデータ	6

テーブル

- By グループを指定した場合、[スクリプトをデータテーブルに保存] を選択したときに、常にスクリプトが元のテーブルに保存されるようになりました。
- 「検索」ウィンドウの [すべて置換] をクリックしたときに、列名が正しく置換されるようになりました。
- J(0) という無効な JSL を使用して新しい列の値を設定した場合、JMP が終了してしまう問題が修正されました。
- [リストチェック] が設定されている列がある場合に、Add Rows() を使用して行の追加を行うと先頭に追加される問題が修正されました。
- 設定されている値ラベルがその列の一部のデータ値のみに対応している場合も、列が正しく印刷されるようになりました。
- 他の列に依存する列計算式の処理方法が改善され、バックグラウンドでループする可能性が低くなりました。

計算式エディタ

- If 演算子と Match 演算子の引数のテキストが修正されました。

要約

- 要約テーブルを並べ替えるときに [テーブルの置換] オプションを指定しても、元のテーブルの行のマーカが消えなくなりました。
- あるデータテーブルから要約テーブルを作成し、さらにその要約テーブルからもう 1 つ要約テーブルを作成した場合、最初の要約テーブルから行を削除しても、JMP が終了しなくなりました。

連結

- By グループを指定して分析を行った後、[データテーブルウィンドウ] を選択して作成されたサブセットのテーブルが「連結」の起動ウィンドウに表示されない問題が修正されました。

データフィルタ

- データフィルタのカテゴリラベルが、フォントサイズを大きくしても正しく表示されるようになりました。

読み込み／書き出し

SAS

- 使用可能なメモリで処理しきれないほど大きな SAS データセットを読み込もうとした場合、JMP が終了することなく、エラーがログに表示され読み込みが中止されるようになりました。
- SAS 移送ファイルの読み込みで TIME フォーマットがサポートされるようになりました。
- SAS/ACCESS を使用してアクセスするデータベースのデータを読み込む場合、メタデータを取得する際にライブラリ名を使用するためエラーとなる問題が修正されました。ライブラリ名の代わりに SAS のライブラリ参照名が使用されるようになりました。

Excel

- 壊れた Excel ファイルを読み込んでも、JMP が終了しなくなりました。

ODBC

- SQL Server 2005 上のデータベーステーブルを開いてクエリを実行しようとしたときに、接続エラーが発生することがありました。この問題は解決されました。
- 大量の文字データが含まれている JMP データテーブルを、以前よりかなり速いスピードで Excel ファイルに保存できるようになりました。

ユーザインターフェイス

Windows のツリーリスト

- ファイルシステムおよびプロジェクトのツリーを右クリックして [スクリプトの実行] を選択したときに、スクリプトが2回ではなく1回だけ実行されるようになりました。

プロジェクト

- アーカイブしたプロジェクトがときどき壊れるという問題が解決されました。
- プロジェクトにある同じウィンドウとレポートが、2つ以上開かれる問題を解決しました。
- 重複するドキュメントをもつプロジェクトを閉じた場合に JMP が終了する問題が解決しました。
- 未保存のデータテーブルから生成されたレポートウィンドウをプロジェクトに追加すると、そのプロジェクトを後で開き直したときにエラーが発生する問題が回避されました。

ジャーナル

- 出力内容をコピーしてジャーナルやレイアウトに貼り付けても、透明度の指定が失われなくなりました。
- ローカライズ版の JMP において、ジャーナルやレイアウトで色の名前によるエラーが発生することがなくなりました。
- ローカライズ版の JMP で、[英語でスクリプトを保存] 環境設定が指定されていても一部が英語でない言語で保存される問題が解決しました。

セッション

- Linux 上の JMP で新しいセッションが正しく保存されるようになりました。

ツールバー

- 環境設定で [ツールの正確な位置を保持する] を選択したとき、Windows 上で JMP を起動するたびに、固定していないツールバーが下方向へ移動するという問題が解決されました。

SAS インテグレーション

- データセットに、日付、時刻、または日時（タイムスタンプ）の列があり、かつ、その列に欠測値がある場合に、そのデータセットに対して実行したストアドプロセスが正常に機能するようになりました。
- 同じストアドプロセスパラメータを同時に2回編集しても、JMP が終了しなくなりました。

ディスプレイ

- JMP を Mac OS 10.5 以降で実行している場合は、3次元描画においてデフォルトでハードウェアアクセラレーションを使用するようになりました。この変更により、三次元散布図の回転が速くなりました。

実験計画

カスタム計画

- 数多くの因子における範囲が非常に狭いために計画行列が特異と判断されてしまう問題が解決しました。

分析

一変量の分布

- Johnson Sb、Su、Sl のあてはめに対して、適合度検定が正しく行われるようになりました。
- 1つの水準に0の重みまたは度数があり、仮説割合が欠側の場合に、[割合の検定] オプションが正しい結果を返すようになりました。
- 行を追加したときに、[自動再計算] が正しく機能するようになりました。

モデルのあてはめ

- 変量効果が欠側値のときでも、平均信頼区間および予測区間が正しく計算されるようになりました。
- 多数の Y 項がある場合でも、最小 2 乗法によるプロファイルで JMP が終了することがなくなりました。
- 一般化線形モデルで、名義尺度の応答が欠測値にのとき、誤ったデータ数が戻されることがなくなりました。
- Manova のあてはめの [応答の選択] のメニューで [複合] を指定した際、正しい対比行列が生成されるようになりました。

モデル化：時系列分析

- ARIMA ダイアログのフランス語テキストが修正されました。

生存時間分析もしくは信頼性分析：生存時間 / 信頼性分析

- 累積ハザードプロット内の影つきの信頼領域が、Weibull および他の分位点スケールの 1 および 0 の確率に対し、正しく描画されるようになりました。
- グリッド線上に参照線が描かれるようになりました。
- 「軸の指定」ウィンドウで、指数確率スケールをゼロまで指定できるようになりました。

グラフ

チャート

- データフィルタで行の除外属性を変更したときに、棒グラフ以外のチャートが棒グラフにリセットされるという問題が解決されました。

重ね合わせプロット

- 重ね合わせるグループがないときに重ね合わせグループを選択しても、JMP が終了しなくなりました。

管理図

- Sigma 列プロパティがスクリプトによって設定された列を使用して管理図を作成しても、JMP が終了しなくなりました。
- S 管理図のみ、または R 管理図のみを作成しても、JMP が終了しなくなりました。
- 標本サイズが 1 のときに管理図を XBar または R から IR に切り替えても、JMP が終了しなくなりました。
- 多変量管理図のレポートで、主成分分析を追加しても、共分散行列が変更されなくなりました。
- ランチャートの中央値計算で、除外した行が除外されるようになりました。
- CUSUM (累積和) 管理図で、Sigma の値が開始値として読み取られることがなくなりました。

変動性図 / ゲージチャート

- 非常に小さい範囲のデータに対して、Y軸のスケールを計算する機能が向上しました。
- 「直線性」ウィンドウで、値を入力せずにキャンセルしたときに、[ゲージ分析] メニューの [直線性] オプションにチェックマークが付いたままになるという問題が解決されました。また、このときに JMP が終了することもなくなりました。

パレート図

- グループ全体が除外されているときにグループ列を使ってパレート図を作成しても、JMP が終了しなくなりました。

工程能力

- 工程能力図用の仕様限界テーブルを読み込む際に、仕様限界テーブルにおける標準以外の列名に対する許容性が向上しました。

プロファイル

- プロファイルがテーブル変数をサポートするようになりました。
- プロファイルにおいて、多数の項を持つ列を用いたとき、正しく処理するようになりました。

等高線プロファイル

- 配合の等高線プロファイルが、グラフの枠線に対してより正確に等高線を描くようになりました。

スクリプト

JSL 演算子の索引

- JSL 演算子の索引で、例を実行した後に [編集] から [コピー] を選択しても、JMP は終了しなくなりました。
- JSL 演算子の索引内の説明と例に対して数多くの改善がなされました。

JSL 関数

- 一致しない行を含む結合に対して生成されるスクリプトで、旧バージョンの JMP との互換性がある構文を使用できるようになりました。
- `Scheduler()` `<< Close` で「スケジューラ」ウィンドウが閉じるようになりました。また、このときにスクリプトエディタウィンドウを移動しても、JMP は終了しなくなりました。
- `Pick Directory()` を実行したウィンドウが閉じてフォルダを選択しても、JMP は終了しなくなりました。これは、`Pick Directory()` によって表示されるフォルダ選択のウィンドウがモーダルダイアログになり、実行したウィンドウを閉じれなくしています。
- `Where` 式が引数として与えられていない場合は、`DT << Get Rows Where()` を実行しても JMP が終了しなくなりました。
- `Distribution(Stack())` コマンドの引数に、`Stack(1)` もしくは `Horizontal Layout(1)` を指定して実行した後に、`Close(dt)` コマンドを続けて実行しても、JMP は終了しなくなりました。
- `Char To Blob()` が 2 つの引数に対して正常に機能するようになりました。
- パス名が `http:` ではなく `file:` から始まる場合は、`Web()` を使用してローカル HTML ファイルを開くことができるようになりました。
- `Mail()` コマンドを使って添付ファイルを正しく送信できるようになりました。

スクリプトエディタ

- 日本語版の JMP で、環境設定の [英語でスクリプトを保存] が選択されている場合に、自動入力機能が正しく動作するようになりました。
- テンキーボード (パッド) の Enter キーを押したときに、現在の行または選択されている行が実行されるようになりました。

オートメーション

- オートメーションで、RunCommand() からエラーテキストが正しく戻されるようになりました。

その他

- Linux 版の JMP で、数値および通貨の表示形式が正しくローカライズされました。
- ISO-8601 日付形式のラベルがローカライズされました。
- ドイツ語の日付が正しく認識されるようになりました。
- コンボボックスメニュー内の項目に「<」または「>」が含まれている場合、「より小さい」または「より大きい」と表示されていた問題が解決されました。
- Macintosh 版の JMP で、使用できないオプションに対して command キーのショートカットを使用しても、カーソルのあるところに無意味な文字が入力されなくなりました。
- Linux 版の JMP で、パーセントエンコードされた URL が正しくデコードされるようになりました。
- Linux 版の JMP で、インストールディレクトリが移動できるようになりました。

アクティベーション

- Macintosh 版 JMP の「マニュアルアクティベーション」ウィンドウで、リクエストコードが正しく表示されるようになりました。
- 中国語版 JMP の「アクティベーション」ウィンドウで、JMP テクニカルサポートの電話番号が正しく表示されるようになりました。

アップデートチェック

- アップデートチェックの結果ウィンドウのテキストが正しく表示されるようになりました。
- JMP アップデートの環境設定で [デフォルトに戻す] をクリックすると、アップデートチェックの機能がオフに設定されるようになりました。これはデフォルトの設定です。

サンプルデータ

- いくつかのデータテーブルで、引用情報が追加および改善されました。